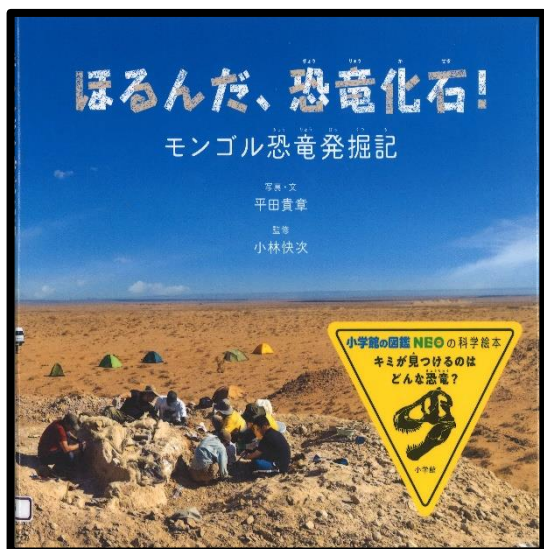


## ほるんだ、恐竜化石！

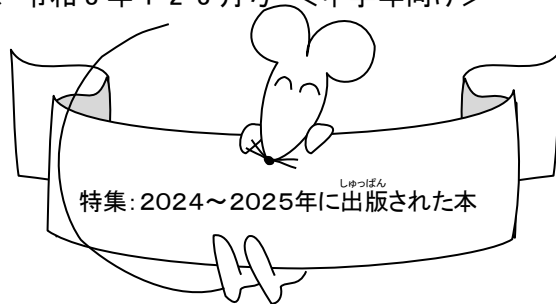
きょうりゅう か せ き  
はっくつき  
モンゴル恐竜発掘記



ひらた たかあき  
平田 貴章/写真・文

こばやし よしつぐ  
小林 快次/監修

小学館〔457〕



モンゴルのゴビ砂漠<sup>さばく</sup>では、いろいろな国の化石ハンターたちが調査<sup>ちゆうさ</sup>をしてきました。まだまだナゾだらけで、わからないことばかり。一体どんな恐竜の化石がこの地にねむっているのでしょうか。

世界的な恐竜学者<sup>こばやしよしつぐはかせ</sup>・小林快次博士<sup>ひき</sup>が率<sup>ひき</sup>いる恐竜発掘隊の大冒険<sup>たいぼうけん</sup>に密着<sup>みつちやく</sup>。

岩石<sup>がんせき</sup>と化石を見分けるポイントや、恐竜学者の発掘ヒミツ道具<sup>さばく</sup>、砂漠ごはん<sup>しょうかい</sup>も紹介されています。

## 最後のシロクマ



たてない あきこ  
夢内 明子/作

しろさめ/絵

金の星社〔913タテ〕

そうたにさそわれてオセロをしたふたばは、大差<sup>たいさ</sup>で負けてしまいます。くやしさを1個だけ残った白いオセロの石を指さして、「ぜつめつすんぜんのシロクマみたい」と負けをごまかします。

その言葉を聞いたそうたは、ふたばを図書館にさそい、うらの林でみつけた1まいのカードを見せます。ふたりがカードに書かれたとおりに行動すると、クラウンというシロクマの部屋にたどりついたのです。

不思議なカードによって、知らない世界へとみちびかれていく物語です。

## サメのイエニー



リーサ・ルンドマルク/作

シャルロット・ラメル/絵

よこの なな/訳

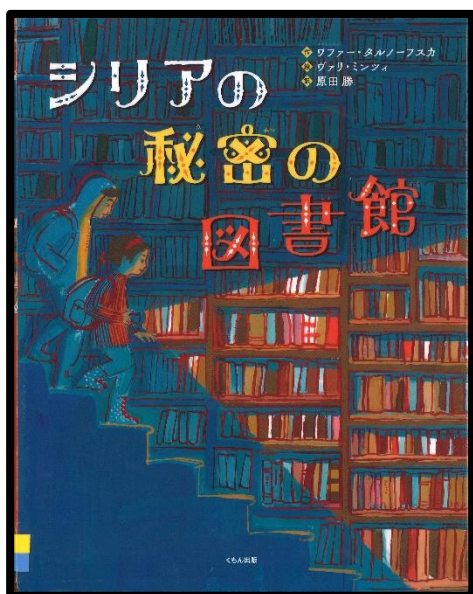
岩波書店〔949ル〕

小学2年生のイエニーは、1人で静かに本を読むことが大好きで、教室で手をあげて発言することは好きではありません。先生からは大きな声で話そうと言われてますが、自分はおとなしい、何も話さないサメだと思っているイエニーにはできません。

ある日、イエニーは水族館で出会ったサメに、どうすれば自分のことを先生やお母さんにわかってもらえるのか相談します。

自分をいつわることなく成長していくイエニーの姿に、勇気をもらえるスウェーデン発の物語です。

## シリアの秘密の図書館



ワファー・タルノーフスカ/作

ヴァリ・ミンツィ/絵

原田 勝/訳

くもん出版〔エ〕

ダマスカスはアンズやバラの香りがただよい、「香りの町」とよばれています。

ある日戦争がはじまり、町でくらすヌールもいこのアミールもお昼に外であそぶことができなくなり、学校も休みになりました。ヌールたちは通りにおちている本をひろうようになり、秘密の図書館を作ることにしました。こうしてできた図書館は「夜明け」と名づけられました。

町の人に希望をあたえ続けた図書館の物語です。